

事業所名

放課後デイとさわsun(放課後等デイサービス)

支援プログラム

作成日

令和7

年

2

月

27

日

法人(事業所)理念		◆自分の道を切り拓き、他の為に貢献する夢・力を持つ ・ぐっどマナー：あいさつをしよう くつをそろえよう ありがとうございます感謝しよう ・ぐっどスタディー：本をたくさん読もう 元氣よく外で遊ぼう 失敗してもいいチャレンジしよう ・ぐっどハート：自分勝手わがままを言わない よく考え工夫しよう 困っている人を助けよう										
支援方針		①「自立のため」「将来のため」「生きる力のため」の 三本柱で活動内容を工夫しています。 ②ご家庭(通われている園の先生)と連携を取りながら、お子さんの支援をしていきます ③社会性の向上と自立に向けて、お子さんに応じて必要な力が身につくよう支援していきます。										
営業時間(平日)		14	時	0	分から	17	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
営業時間(学校休業日)		10	時	0	分から	16	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	SST(食事マナー、身だしなみ、服のたたみ方、整理整頓、金銭的学習・買い物ごっこ・体調について) 掃除トレーニング(机拭き、窓拭き、掃除機、床拭き)・プライベートゾーン 料理教室・買い物体験・公共交通機関(バス・市電)の利用										
	運動・感覚	リトミック・運動遊び(バランスボール、トランポリン)・散歩・ビジョントレーニング 手先トレーニング(プットイン、スプーン・箸・食器の扱い方、ブロック、LaQ) 製作活動(折り紙、粘土、はさみ、のり、紐結び、ペーパークラフト、はた織り、アイロンビーズ、手芸)										
	認知・行動	学習課題(ひらがな、国語基礎、算数基礎、コグトレ)、ビジョントレーニング、防災訓練 報告、要求(「終わりました」「貸してください」「やってもいいですか」等、都度の場面ごと) SST(危険認知…「どこが危険?」「どうしたらいい?」、因果関係…「こうするとこうなる」、アンガーマネジメント) 時計・時間…時計の読み方、タイマーの活用(あと何分)、時間の感覚										
	言語 コミュニケーション	SST(挨拶、人とのやり取り、ふわふわ言葉・ちくちく言葉、気持ちを表す言葉、気持ちの表出、トーキングカード) 集団遊び・児童クラブ交流(だるまさんがころんだ、鬼ごっこ、タオル相撲、フルーツバスケット・ドッジボール・すごろく・カードゲーム) その他、場面ごとに必要な言葉を知らせて言えるように補助。支援員が代弁→本人が繰り返す。										
	人間関係 社会性	SST(気持ちについて…自己理解・他者理解、社会(集団)でのルール・マナー、人とのやり取り・距離感) 児童クラブ交流 外食体験・公共交通機関の利用(利用するにあたってのマナー)										
家族支援		個々の家庭状況に対応し、常に情報共有と相談支援を行う。				移行支援		園や学校、他事業所など関係機関との情報共有や連携調整 進路や就学についての相談支援や準備支援				
地域支援・地域連携		卒業後の事業所等への訪問				職員の質の向上		職員の各種勉強会や研修への参加 自発管等資格取得の支援				
主な行事等		季節の行事(お花見、夏遊び、初詣、豆まき) 近隣施設の利用 公園へのお出かけ										